



【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成



令和5年度
学校だより
第11号

豊かっ子

喜多方市立豊川小学校
令和5年10月11日(水)
発行責任者
校長 佐々木 豊

祝創立
150
周年

◎(心も体も)つよい子 ◎(自然と友達に)やさしい子 ◎(真剣に)まなぶ子

朝のマラソンがスタート～(心も体も)つよい子を目指して～

10月3日(火)より朝のマラソンがスタートしました。校内マラソン記録会に向けての練習です。



時間になると、子ども達は一斉に校庭に飛び出し、元気にマラソンに取り組んでいます。何周走るか目標を決めて走っています。どの子も大変意欲的です。

子ども時代(成長期)に体を鍛えることはとても大事なことです。病気につかりにくい体をつくり、やり遂げるつよい心を育てることは、大人になってからも自分の夢をかなえる助けとなるからです。

これからも子どもたちを励まし、「(心も体も)つよい子」を目指したいと思います。

校内マラソン記録会 11月2日(木) 2・3校時 雨天順延11月8日(水)

開会式 9:30

競技 9:40 低学年 → 中学年 → 高学年

閉会式 10:35



稲刈りをしました～農業体験を通して多くを学んでいます～

10月3日(火)に5・6年生が稲刈りを行いました。今回も農業科支援員の只浦義弘さんと手代木昌宏さんに指導していただきました。

作業手順や鎌の使い方などを教えていただいた後、さっそく班ごとに稲を刈りました。刈った稲は麻ひもで結び、乾燥させるため「さで」にかけました。刈る・結ぶ・運ぶの作業を、どの班もチームワークよく分担して行うことができました。刈り終えた田んぼの落穂も丁寧に拾い、1粒も無駄にしない姿に感心しました。安全に作業し、鎌でけがをする子もいませんでした。さわやかな秋晴れの下、心地よい汗を流すことができました。稲刈りは、農作業としての体験だけでなく、友達と協力する体験、自然を感じる体験にもなりました。

農業科支援員さんによると、今年の稲は「大変良いでき」だそうです。稲が乾いたら脱穀の作業を行う予定です。どれだけおいしいお米ができたか、収穫祭が今から楽しみです。



後期の組織がスタートしました～みんな意欲的です～

10月になり、令和5年度後期がスタートしました。4・5・6年で組織する児童会委員会が新しいメンバーで再編成されました。縦割り清掃班も新しい班になりました。

新しいメンバーのため、まだ少し慣れていない面もありますが、みんなやる気満々で活動しています。記念すべき豊川小創立150周年の年、後期の活動も意欲的に取り組んでほしいと思います。



【児童会委員会】

10月2日（月）に後期委員会組織編成をしました。新しいメンバーで委員長や副委員長を決め、活動計画を立てました。10月3日（火）から活動がスタートしています。写真は運営委員会の子ども達です。昇降口でいさつ運動に取り組んでいます。大きな声で元気にいさつを呼びかけているので感心しています。



【清掃班集会】

10月4日（水）に清掃班集会を行いました。新しい縦割り清掃班の顔合わせとともに掃除の仕方を確認しました。掃除の仕方の確認は養護教諭がポイントや注意点をパワーポイントで説明しました。最後に班ごとに清掃場所の確認と役割分担を相談しました。新しい班でも清掃をていねいにしっかり行っています。

「規律」の心が育っています～「きりつ あいさつ 挑戦」～

子ども達が、集団の中で嫌な思いをせず、安心して過ごせるためには「規律」が必要です。「規律」のある集団には、和やかで好ましい人間関係が育まれます。豊川小では、「規律」を高めるため、「くつ揃え」「傘揃え」「無言清掃・無言移動」に取り組んでいます。



「規律」に関して感心したのは、清掃班集会の子ども達の態度です。静かに座りしっかりと話を聞いていました。また、先日雨が降った日にも、傘がきちんとそろえられていました。豊川小の子ども達に「規律」の心が育っていることを、うれしく思いました。

これからも豊川小学校では、「きりつ あいさつ 挑戦」を合言葉に、みんなで高めあうことを目指していきたいと思います。

